

実践校に関する事項		
学校区分	学校名	学校長名
小学校	橋本市立西部小学校	丸井 利恵
学校所在地		
〒 648 - 0084 tel 0736(33)0472	和歌山県橋本市柏原554-2 fax 0736(33)0972	
担当者名		役職名・担当教科
寺本 拓司		教諭・6年生担任
<p>【学校の概要】</p> <p>本校は、橋本市（合併前の旧橋本市）の西部に位置し、北は葛城山脈をもって大阪府と隣接し、南は東西を流れる紀の川を隔てて、橋本市学文路地区と接している。校区の広さは、東西に約4km、南北に約9kmあり、本校は、柏原地区の丘の上に所在している。学校北側は、田畑が広がり、山の斜面では柿畑が多くみられる。学校南側には、旧大和街道が通り、現在は国道24号線、京奈和自動車道、JR和歌山線がそれぞれ東西に通っている。</p> <p>本年度の児童数は、10クラス、190名で、「「やさしく・かしこく・そして、たくましい子の育成 ～仲間と磨き合い・高め合う中で～」という教育目標のもと、全教職員が力を合わせながら、「チーム西部」として学校運営をしている。児童は、とても元気がよく活発で、何事にも一生懸命取り組む姿が見られる。また、山田地域共育コーディネーターや、保護者の「せいぶっ子応援隊」を中心に、地域や保護者の方々が、様々な面で学校に協力してくださっている。</p>		
研究実践に関する事項		
対象者児童・生徒	学習支援者等（延人数）	主な活動場所
6年生 34名	職員 4名	本校・高野山内各施設
実践研究テーマ		
自ら学び、互いに深め合う児童の育成 ～「主体的・対話的で深い学び」の視点を通して～		
実践教科等名	単元名	
総合的な学習の時間	「世界遺産から学ぼう」及び「橋本市の将来を考えよう」	
<p>【キーワード】</p> <p>世界遺産学習・郷土愛・情報活用能力・ESD</p>		
<p>【単元目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界遺産について意欲的に学んだり調べたりして気づいたことを、自分たちの住む橋本市に結び付けて考えることができる。 橋本市に関心を持ち、自分の生活を見直したり、他者の考えを生かしたりしながら課題を解決することができる。 		
<p>【学習に当たった全学習時間数（世界遺産学習に関わる時間数及び 学習活動名／教材名）】</p> <p>全体 20+40 時間（「世界遺産「高野山」へ行こう」 6 時間）</p>		
<p>【地域および文化財管理者等との連携の実施状況】</p> <p>和歌山県世界遺産センター：次世代育成事業における、世界遺産講座等 世界遺産マスター：壇上伽藍～金剛峯寺 及び、一の橋～弘法大師御廟における現地学習ガイド</p>		

実践校に関する事項			
[単元指導計画概要]			
	主な学習活動	学習への支援	評価方法等
1	1. 世界遺産について知っていることを情報共有する。 2. 自分の調べたいテーマを決める。	・ 学習への動機づけとなるよう、世界遺産について知っていることを自由に発表させる。 ・ 主体的に調べられるよう、自分の興味関心がある世界遺産をテーマにさせる。	【主体的に取り組む態度】 (観察・ワークシート) 【主体的に取り組む態度】 (観察・ワークシート)
2	3. 世界遺産について調べ、修学旅行の別冊しおりにまとめる。 4. まとめた内容を発表する。	・ 調べた内容をまとめやすいように、テーマごとのグループ編成にする。 ・ しおりをもとに発表させる。	【知識・技能】 (観察・ワークシート) 【思考・判断・表現】 (観察)
3	5. 修学旅行で和歌山の世界遺産を訪れる。 6. 高野山で現地学習を行い、世界遺産に触れる。	・ 那智の滝などを訪れる。 ・ 世界遺産講座を受講し、世界遺産について学習させる。現地学習として伽藍や弘法大師御廟を、世界遺産マスターと一緒に訪れる。	【主体的に取り組む態度】 (観察) 【主体的に取り組む態度】 (観察・ワークシート)
4	7. 自分たちの住む「橋本市」の魅力を発信する方法を考える。 8. 自分が発信したいテーマを決める。	・ 主体的に取り組めるように、目的意識と相手意識を明確にさせる。 ・ 自分の興味関心がある内容をテーマにさせる。	【主体的に取り組む態度】 (観察・ワークシート) 【主体的に取り組む態度】 (観察・ワークシート)
5	9. 橋本市について調べ、パンフレットにまとめる。 10. まとめた内容を発表する。	・ 読む人がわかりやすいようなパンフレットとなるように、割り付けなどを考えさせる。 ・ パンフレットをもとに発表させる。	【知識・技能】 (観察・ワークシート) 【思考・判断・表現】 (観察)
[単元学習の成果と課題]			
<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが日本の世界遺産、及び私たちの和歌山県や橋本市について興味関心をもつことができた。 世界遺産学習をきっかけに、ふるさと和歌山や橋本市の良さを受け継いでいくために、どうしたらいいのか考えるよい機会となった。 高野山での実地学習を通して、「世界遺産の高野山」について深く知ることができた。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界遺産マスターの方の話が、担当者によって違う部分(説明してくれる場所の違い等)があり、学校に戻ってからの事後学習で子どもたちに戸惑いが見られた。また、小学校では習わない歴史上の人物や出来事の話があり、できれば学年や学校種に応じた説明をしていただけると、子どもたちもより興味関心をもって参加できると考えられる。 			
[世界遺産学習の効果]			
<ul style="list-style-type: none"> 世界遺産である「高野山」を、実際に訪れることができ、また、世界遺産講座や世界遺産マスターの方の説明など、学校の学習では聞く機会のない話を聞いたので貴重な体験となった。 高野山を含め、和歌山の世界遺産に実際に触れることができ、ふるさと和歌山を大切にしていこうとする気持ちが子どもたちに芽生えた。 			
[世界遺産学習の今後の方向性及び改善点について]			
<ul style="list-style-type: none"> 本校は今年度が初めての参加となったので、今後、高野山世界遺産学習を継続して行っていけるようにしたい。 世界遺産マスターの方の説明に加えて、自分たちでフィールドワークをしたり、その他の体験学習を増やしたりしたい。 今回の高野山学習は、「世界遺産学習」と「ふるさと橋本市」をつなぐ役目になっていたため、より深く高野山について学べる機会を設けられれば良かった。 			

様式2

令和3年度「次世代育成事業」における学習記録

[概要報告書 学習記録・活動写真]

(1) 実施日:令和 3年 11月 16日 (火)

(2) 学習内容の記録及び児童の感想

①世界遺産講座 於:高野町中央公民館



高野町中央公民館において、世界遺産センターの職員の方よりスライドを用いて世界遺産の説明をしていただいた。また、その際パンフレットもいただき、それも見ながら話を聞くことができた。最後に、「道普請」についてのビデオを視聴し、世界遺産を守っていく大切さと大変さについても知ることができた。

②現地学習(午前)【中門～金剛峯寺】



世界遺産講座後、午前中は4つのグループに分かれて、世界遺産マスターの方と一緒に、中門～金剛峯寺まで歩きながら現地学習した。途中、中門や壇上伽藍、三鉢の松などの説明を受け、学習しながら金剛峯寺に到着した。

③現地学習(午後)【一の橋～弘法大師御廟】



昼食後の午後からは、一の橋～弘法大師御廟までを歩きながら、現地学習した。途中、戦国大名の供養塔や姿見の井戸などの説明では、子どもたちが興味をもってメモを取る姿が見られた。また、11月の冷たい空気ということも相まって、とても厳かな雰囲気の中、現地学習を進めることができた。

④児童の感想

- ・「高野山という山はない」、「壇上伽藍の中門の中に四天王がある」など、地元に住んでいるのに、知らないことがたくさんあってびっくりしました。今回勉強させてもらったことをもとに、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」についてもっと調べていこうと思いました。
- ・世界遺産の中にあるものは、昔からずっとあるものだと思っていたけれど、現地学習で見たものの中には再建されたものがあることを初めて知りました。
- ・一の橋～弘法大師御廟の間には、小学校で習った大名のお墓があり、大名と高野山とのつながりを知れていい勉強になりました。また、自分たちの知っている有名人のお墓もあってびっくりしました。